

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			10月26日	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	Net Chg
<b>Forex</b>	USD/BRL	Spot	2,0270	2,0330	2,0300	2,0310	<b>2,0310</b>	u,c, +0,3600
	USD/YEN	Spot	79,62	79,81	79,63	79,83	<b>80,19</b>	+0,3600
	EUR/USD	Spot	1,2940	1,2902	1,2960	1,2967	<b>1,2933</b>	-0,0034
	BRL/YEN	Spot	39,28	39,26	39,23	39,31	<b>39,48</b>	+0,1700
<b>Swap</b>	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,34	1,39	1,35	1,47	<b>1,52</b>	+0,0467
		1Year(p.a.)	1,57	1,64	1,62	1,71	<b>1,71</b>	-0,0001
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,12	7,11	7,11	7,11	<b>7,11</b>	+0,0001
		1Year(p.a.)	7,21	7,24	7,24	7,24	<b>7,22</b>	-0,0131
<b>Stock</b>	<b>Bovespa</b>		57.277	57.177	57.684	57.068	<b>58.383</b>	+1.314,50
<b>Bond</b>	<b>CDS Brazil 5y</b>		108,17	108,17	111,68	111,68	<b>112,32</b>	+0,6400
	<b>Global 40</b>		128,250	127,650	126,800	127,000	<b>127,250</b>	+0,2500

\* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGV CPI IPC-S (10月31日)	0.50%	0.48%	0.57%	
鉱工業生産(季調済/前月比,9月)	-0.5%	-1.0%	1.5%	
鉱工業生産(季調前/前年比,9月)	-3.3%	-3.8%	-2.0%	
製造業購買担当者指数 (10月)	49.9	50.2	49.8	
貿易収支(FOB)-月次 (10月)	\$2000M	\$1662M	\$2555M	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0290 で寄り付いた。
- 週初には米国でハリケーン「サンディ」がニューヨークに襲来した影響で債券及び株式市場が 2 日間に渡って短縮取引や休場となり、市場の流動性は通常時を大きく下回る結果となった。レアルも流動性が低下する中、週初に週間高値となる U\$1=R\$2.0270 を付けたがハリケーンの影響を不安視してかリスク資産回避の動きが強まると、レアルにも売り圧力がかかり 2.03 台まで反落した。
- 翌 30 日にはレアルは暫く 2.0310 から 2.0330 の間で小幅な値動きとなった後、緩やかにレアル買いが強まった。
- 月末となる 31 日にはニューヨーク市場の債券、株式市場が取引を再開する中、レアル相場の流動性も通常時を上回る水準まで回復した。大口の資金流出の噂からレアルは一気に売られ、週間安値となる U\$1=R\$2.0350 まで下落する展開となった。
- 翌 1 日には中国や米国の良好な経済指標を受けてリスク資産の買いが見られたが、ブラジルのロングウィークリード入りを控えてレアル相場の値動きは非常に限定的となり、終日 2.0290 から 2.0320 の間で推移し、結局 U\$1=R\$2.0310 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
11/5	FIPE消費者物価指数(月次)	Oct	0.80%	0.55%
11/5	貿易収支(FOB)-週次	nov/04	--	--
11/6	PMIサービス業	Oct	--	52.8
11/7	FGVインフレ率-IGP-DI	Oct	-0.05%	0.88%
11/7	IBGEインフレ率-IPCA(前月比)	Oct	0.58%	0.57%
11/7	インフレ率(IPCA)-IBGE(前年比)	Oct	5.44%	5.28%
11/7	CNI生産設備稼働率	Sep	81.1%	80.9%
11/8	FGV CPI IPC-S	nov/07	--	0.48%

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.01 – 2.06

今週は米国でのハリケーンの影響やブラジルでは 2 日が祝日で市場が休場となるため、レアルの流動性は通常時より低下したことに加え、伯中銀によるレアル安をサポートする数々のコメントを受けて値動きは限定的となった。国内では 1 日に発表された伯鉱工業生産が予想を大きく下回る結果となったことを受けて伯政府による経済刺激策の効果が減少しているとの見方が強まっている。その結果、先物金利は下落しレアルにも売り圧力が掛かる可能性がある。更に来週は海外市場では米雇用統計を含む多くの経済指標の発表が予定されており市場の注目が集まっているが、仮にリスク資産の買いが優勢となる局面が見られても、ブラジルでは伯中銀によるドル買い介入警戒感が根強く、レアルの値動きは引き続き限定的となろう。